

■科目基本情報

科目名	情報ビジネス実務		科目コード	J120	科目区分	専門
学科・コース	情報システム工学科 メディアデザインコース		学 年	1 年	学 期	通年
方 式	講義	必 ・ 選	選 択	単 位	1	総 時 数
実務経験のある教員科目	□対象・☑対象外					30

■授業詳細情報

授 業 概 要	新社会人として求められる、ビジネス基礎能力（会社と組織、仕事の基本、ビジネスの常識、ビジネスマナー）及び、ビジネス文書の書き方などの実務能力について、演習を交え講義を行う。また、ビジネス能力検定3級の過去問題をもとに演習を行う。
達 成 目 標	自らの職業感や勤労観といった概念について理解ができています。基本的なビジネス常識及び、コミュニケーション、情報の活用など、職業人として適応するための基知識、礎能力を身につける。
使 用 教 材	教科書： コミュニケーション検定 上級公式ガイドブック&問題集 副教材： SPI-U 対応 SPI 基礎からはじめる問題集 参考書：
授 業 外 学 習	授業で学習した内容は、日常生活でも適応できる場面が多いので、学んだことを意識しながら行動してみてください。

授業計画

項 目	内 容	時 数
ビジネスとコミュニケーションの基本		
1. キャリアと仕事へのアプローチ	自分のキャリアを考え、働くこととの関連を考える。また、その働く場となる会社が求めている人物像について講義する。	1
2. 仕事の基本となる8つの意識	社会人として必要な意識である、顧客意識、品質意識、納期意識、時間意識、目標意識、協調意識、改善意識、コスト意識について講義する。	2
3. コミュニケーションとビジネスマナーの基本	コミュニケーションについてその本質を理解するため、コミュニケーションの持つ意義や役割を理解する。かつ円滑なコミュニケーションをとるために必要な方法、マナー等を講義する。	2
4. 指示の受け方と報告、連絡・相談	指示を受けるときのポイントである仕事の目的(5W2H)及び、報告、連絡の目的や方法について講義する。その中で電子メールの活用方法について演習を交え講義する。	2
5. 話し方と聞き方のポイント	学生言葉から、社会人としてふさわしい言葉遣いへと移行して行くために、相手を意識した分かりやすい話し方、言葉の選択、敬語、謙譲語、尊敬語等の違いなどについて講義する。また、一方通行の会話にならないためにも、相手の話を聞くことの重要性について講義する。	3
6. 来客応対と訪問の基本マナー	受付や接客時の所作(名刺交換、面談)やマナーの基本をもとに、来客応対及び、訪問時の流れについて演習を交え講義する。	2
7. 会社関係でのつき合い	取引先との会食時に失礼のないよう、食事のマナー、所作等について演習を交え講義する。また冠婚葬祭時のマナー、所作について演習を交え講義する。	2
仕事の実践とビジネスツール		
8. 仕事への取り組み方	計画を立て、確実に実行するために、スケジュールの重要性と立て方について、演習を交え講義する。また、業務を改善するために、PDCAサイクルを意識し、それを活用できるように演習を交え講義する。	2
9. ビジネス文書の基本	ビジネス文書の役割と、書き方の基本(各種ビジネス文書、Eメール等)について演習を交え講義する。	3
10. 電話応対	電話応対の重要性と役割を理解し、正しい電話の受け方やかけ方、取りつぎが実行できるように、演習を交え講義する。	1
11. 統計・データの読み方、まとめ方	数値の重要性を理解し、それに付随する統計データ、図、グラフ等の見方について演習を交え講義する。また、自身の持っているデータを図やグラフとして表現する方法について演習を交え講義する。	3
12. 情報収集とメディアの活用	情報過多の時代の中で、自身に必要な情報のみを取捨選択するためのポイント、メディアの種類等を講義する。また、インターネットを利用した情報収集方について演習を交え講義する。	2
13. 会社を取り巻く環境と経済の基本	日本経済の基本構造と現在起こっている変化について、講義する。	1
過去問演習	ビジネス能力検定3級の過去問題をもとに、試験対策を行う。	4

評価方法	①期末試験：60%、②出席率：20% ③課題提出：20% ①~③の合計得点を評価（優、良、可、不可）に置き換える
関連科目	
備考	